

広報 おおの

平成5年(1993年)

7月号
No.574

本番に備え、 確かな目

(6月6日、ふれあい公園で陸上審判講習)



湖水景観



溪谷美



野外活動



四季折々の自然 と 充実した野外施設

麻那姫湖周辺の整備完了



平成三年から進められていた麻那姫湖周辺の整備が終わり、今夏から利用できます。春の里には麻那姫像、夏の里には展望台、秋の里には野外活動施設などが整備されました。これで、冬の里（エキサイト広場）を含むグリーングリーン大野整備事業は、すべて完了しました。

避難棟や炊事舎を完備

29カ所に照明灯も設置

秋の里

通称「中島公園」として親しまれている秋の里は、約十八万五千平方メートルの敷地に数々の野外施設が点在します。今回の整備では、キャンプやバーベキューなど野外活動施設を中心に整備しました。

主な施設としては、突然の降雨に備えた避難棟（二百四十平方メートル）や炊事舎（五十平方メートル）、テントサイト（二十基）、野外炉（十五基）、水飲場（三基）があります。また、照明灯（蛍光灯二百ワット）も園内二十九カ所に設置したほか、多目的広場の芝張り、園路舗装、駐車場なども整備しました。



秋の里整備の総事業費は、三億三千五百万円です。

入場者数は年間五万人

今回の整備により、一日の収容人数は二千人から三千人、駐車場の収容台数が大型十台、小型約二百五十台になりました。現在、麻那姫湖周辺を訪れる人は、年間約二万五千人ですが、市では将来、五

湖畔にたたずむ

伝説の麻那姫像

真名川ダムから上流二百メートルの春の里には、麻那姫像があります。

ここには遠い昔、麻那姫という十文字長者の娘が、龍神の住む川に身を沈め、干ばつで苦しむ農民を救ったという

万人から七万人を見込んでいます。



春の里

古い伝説が残されています。

この伝説を元に、市は昨年の七月に麻那姫像を建立し、その周辺整備を行いました。静かな湖面を背景に立つ麻那姫像は、この辺り一体のシンボルとなっています。



眼下に広がる湖面

夏の里

若生子大橋に
展望台が完成

春の里から秋の里に向かう途中に、長さ二百三メートルの若生子大橋が架かっています。平成二年には、鮮やかな萌葱色に塗り変えられ、紅葉と湖面との見事なコントラストを描いています。

今回の整備では、国道対岸に高さ約十三メートルのアンカー展望台が完成。ここからは、麻那姫湖の大パノラマが望めます。展望台周辺の壁には、絵が描かれており、二カ所の広場も整備しました。



ゴミは持ち帰りが原則
マナー悪い家族連れ



麻那姫湖青少年
旅行村 管理人
山田公信さん

アウトドア・ライフが盛んになり、夏休みは大勢の人でにぎわいます。原則として今年から、ゴミは持ち帰ることになりました。特に生ゴミはカラスやけものが食い散らかします。貴重な税金で造られた施設は、利用者のマナーで守ってほしいと思います。

多くの人にふるさとを



高畑裕満さん
(40歳・右近次郎)

私が住んだ上若生子は、現在の若生子大橋付近にありませんが、山々は昔と変わっていません。当時の住民で若生子会を結成。年に一回、現地訪問して親睦を深めています。ふるさとが整備され、雄大な自然を多くの人に見ていただきたいです。

有料化でサービス向上を



角平利夫さん
(62歳・若杉町)

わが家は、中島公園の管理事務所付近にありました。荒れた廃村にならず、立派な公園に生まれ変わり喜んでいきます。今も山の手入れに出かけますが、夏場は多くの人が来られます。立派な公園を維持し、来訪者の期待に添えるサービスが提供できるよう、有料化も考えてみてはいかがでしょうか。

仏像

袈裟

頭陀袋など六件

市の有形文化財に指定

市教育委員会はこのほど、市内の寺院などに所蔵されている由緒ある仏像と宝慶寺宝物殿に保管されている袈裟や頭陀袋などあわせて六件(十点を、市の有形文化財に指定しました。市が指定した文化財は、これで九十二件になります。



▲観音菩薩立像

観音菩薩立像

洞雲寺仏殿の左奥にあるこの仏像は、元は僧堂の本尊として安置されていた聖観音像です。左手に水瓶を持ち、右手は

胸に置いた姿で、高さは一〇一・五センチ。なだらかな丸みをもった体型をみせており、腰をわずかにひねって立つ軽快な姿が特徴です。すべての部分の彫りが浅く、穏やかな調子がよく出ており、これらはやさしく和様

不動明王立像

化された平安時代後期の様式を表しています。市内に伝来した現存最古の貴重な仏像です。

不動明王には十九の像谷があるとされています。大宝寺に安置されている高さ八十一センチの立像は、顔面の傷みが目立ち、玉眼も修復されていますが、右目を強く開き、左目



▲不動明王立像

釈迦如来坐像

後期という説もあります。

はいくぶん細めた一目諦観の相を表しています。宝剣を持つ右腕は強く張り右肩をわずかにあげて、左足を幾分踏み出した体勢は、動きが感じられます。火炎光背を負い、岩座に直立する姿は鎌倉後期によくみられる不動尊像とされていますが、体型は細身に作られており、平安

曹源寺の本尊であるこの坐像は、高さが五〇・七センチで南北朝時代の作とされており、ヒノキ材を使った寄せ木づくりです。端正な目鼻だちや丸みのあ



▲釈迦如来坐像

るほほの肉付きなどは、鎌倉時代風を思わせませす。衣文も穏やかな平行線が細かく彫られ、全体として均衡がとれ、洗練された品格を表わしています。

阿弥陀如来坐像

善導寺の本尊であるこの坐像は、右手を胸前に左手をひざの上にし、衣は左肩から右肩にかかる偏袒右肩の姿をしています。

高さは八十・五センチで、台座中央には胎内仏（市指定文化財）が納められています。室町時代末期の像容を表しており、本格的でよい技巧を示し都の仏師による製作を思わせます。

袈裟(二点)

宝慶寺の宝物殿には、三点の袈裟が保存されています。木蘭色麻九条袈裟は、鎌倉中期に開基寂円が所用した希少な遺品。木蘭色麻二十五条袈裟（写真）は、鎌倉後期に二代目義雲が所用。九条衣に比べ、明るく均等な色調で保存

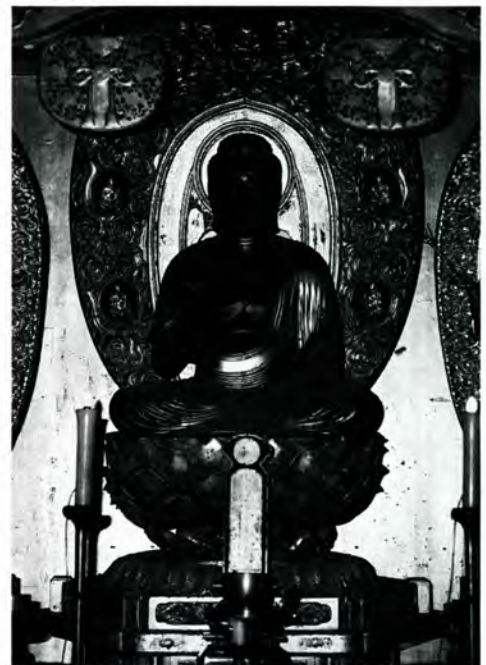


▲木蘭色麻二十五条袈裟

▼木綿間道縞頭陀袋



▼阿弥陀如来坐像



頭陀袋(二点)

木綿間道縞袋一点と木綿藍色袋二点が、宝慶寺宝物殿で保管されています。

も良好です。藍色麻二十五条袈裟は最も整っており一番鮮やかな色を保っています。南北朝時代に、三代目曇希が所用したとされています。

三点とも寂円が所用したのですが、大型で縦縞模様の木綿間道縞頭陀袋（三十五センチ×二十八センチ）は、日本でもほとんど見られない貴重な遺品。刺しゅうが入った中国南方産の織物といわれ、寂円所用を裏付ける決め手になっています。いずれも鎌倉時代のもので首に掛けられるようになっています。

旧大野郵便局跡地整備などに

二億一千万円余りを追加

六月定例市議会は、六月十日から開かれ、一般会計補正予算案など九議案と報告三件を上程。最終日の二十一日には人事案件などが追加され、原案どおり可決されました。

主な一般会計補正予算は次のとおりです。

■民生費

▼社会福祉事業充実基金積立
.....百五十万円

■衛生費

▼ごみ最終処分地修景事業
.....四百十万円

■農林水産業費

▼国道沿い等に常緑樹を植栽

▼団体管農道整備事業
.....四千七百四十七万円

▼県単土地改良事業
.....二千六十六万円

■商工費

▼義景公園整備事業
.....

.....二千二百六十六万円
あずま屋、公衆トイレ、園地整備

■土木費

▼越前おおの歴史の路整備事業
.....九千五百二十万円

■教育費

▼旧橋本家補修用材料選別管理委託
.....百二十四万円

屋根補修用カヤの選別、運搬管理

人権擁護委員に

廣瀬敏子さんを選出

六月定例市議会最終日の二十一日、任期満了に伴う大門俊我委員の後任に、廣瀬敏子さん（62歳・元町）が選出されました。任期は三年。

大門氏は、昭和四十九年から六期務められ、人権擁護に尽力されました。そのほかの人権擁護委員は次の方々です。お気軽にご相談ください。

田中安藝子さん（天神町）
井尾治郎左工門さん（佐開）
明石禮子さん（中津川）
多田正則さん（伏石）

6月定例市議会

第29回越前大野名水マラソン

好天の新緑路を疾走

市民ランナーの健闘光る



▼力強く宣誓する竹本さん親子



山田敬蔵さん

第二十九回越前大野名水マラソンが五月二十三日、県内外から三千三百四十八人の参加を得て盛大に開かれました。開会式では、三年親子の部に出場する竹本由範さん（下舌）と由希ちゃん（小山小）が力強く選手宣誓。二十キロでは、ポストンマラソン覇者で招待選手の山田敬蔵さん夫妻が出演しました。

今年は、市民ランナーが大健闘。ベストテンには、昨年より十五人も多い五十九人がゴールインしました。

市民の成績

(10位以内)

2キロ

▼一般男子
30歳代①横井一博（阿難祖地頭方）⑥朝日正幸（美川町）
▼一般女子39歳以下⑥多田圭美（松丸）⑦松田琴美（新河原）⑨安川こづ江（中掘）⑩牛嶋真砂代（花山）▼一般男



廣瀬智彦さん



横井一博さん

女50歳以上⑤藤幸男（中保）
⑩土田良平（国時町）▼小学男子②金岡孝典（有終東）③鈴木康紘（下庄）④寺島利浩（下庄）⑦長谷川勝人（有終東）⑨石田大輔（小山）▼小学女子②佐々木和代（小山）③齊藤亜由美（上庄）④土本実紀（下庄）⑤佐々木真由美（下庄）⑦島田佳奈（下庄）⑨澤田紗智子（下庄）⑩高尾千恵美（下庄）▼一年親子①朝日正幸・俊介（有終東）④長田博幸・直斗（上庄）⑤藤田康司・祐哉（有終西）⑧笹嶋悟・賢吾（有終西）⑨脇本博之・智広（有終南）▼二年



尾嶋さん親子



松田さん親子



朝日さん親子

親子①松田松美・雄大（森目）⑥前川良明・誠太（阪谷）⑦岸名和彦・悠貴（小山）⑧石田勇・洋一（有終東）⑨松本安博・裕樹（有終東）⑩黒野心治・純一（有終東）▼三年親子①尾嶋義一・隼人（上庄）⑤松田邦男・祐輔（森目）⑥竹本由範・由希（小山）⑨松田裕二・哲直（森目）▼四年親子③旭政則・義則（蕨生）⑥寺島藤雄・孝典（下庄）

3キロ ▼中学男子
①廣瀬智彦（尚徳）⑤正真康宏（上庄）⑥石本将大（陽明）⑦山川雅史（尚徳）⑨印牧史人（陽明）⑩伊藤旭（尚徳）▼中学女子③土本貴子（陽明）④道願明美（上庄）⑤榎慶子（尚徳）⑥前田悠紀（開成）⑦山本真貴子（上庄）⑧大久保実穂（開成）⑨山下順子（開成）⑩松井聡美（尚徳）

5キロ ▼一般男子
29歳以下⑩金子俊幸（清和町）▼一般女子③三嶋友香（城町）⑤野下早苗（木本）⑨鈴木木枝（中野町）

10キロ ▼一般男子
④石田善和（横枕）⑤石田亘（下麻生島）⑨ワイン・スワー（陽明町）▼一般女子⑩高津慶子（美川町）



市民や尚徳中の後輩 本田竹春選手を激励

8月の世界陸上マラソンに出場

ドイツで開かれる世界陸上選手権大会マラソンに出場する本田竹春選手の激励会が六月五日、尚徳中学校と有終会館で盛大に開かれました。

日本代表の本田選手は塚原出身で、尚徳中学校では野球部に所属。二年生になってから、奥越駅伝の区間賞や福井マラソンで優勝し、注目されました。北陸高校で本格的に長距離に取り組み、現在は日本の長距離陣期待の星です。

午後三時、尚徳中を訪れた本田選手は、在学当時の恩師と対面。体育館では松田校長や後輩から激励を受けました。本田選手も後輩の前に「五体満足な体に

感謝し、世界陸上では上位を目指します」と約束。生徒を代表して、松井聡美さんから花束が贈られました。



わんぱく横綱決まる

7・27 両国国技館で全国大会



亀井健太君



畑中実紀夫君



千田友彦君

第九回わんぱく相撲全国大会予選となる大野場所が、エキサイト広場体育館で開かれ、二百人余りの児童が参加。家族の声援を受けての息詰まる熱戦が展開されました。

優勝した亀井君は、敗者復活戦から決勝へ進出する粘り強さを発揮。畑中君は、するどい出足と冷静な取り組みで勝利。千田君は、四年生とは思えない体格で圧倒し栄冠を勝ち取りました。入賞者は次のとおり。

▼六年 ①亀井健太(下庄) ②黒田大貴(小山) 敢闘賞 久保田雅彦(上庄) 中村誠(有終東) ▼五年 ①畑中実紀夫(小山) ②島田憲二(有終西) 敢闘賞 岸名大輔(小山) 福岡念哲(有終西) ▼四年 ①千田友彦(有終南) ②亀井雅俊(有終西) 敢闘賞 長谷川和俊(有終東) 川端宗太(有終南)

市総体公開種目 サイクリング 参加者募集中

今年から、サイクリングが公開種目となりました。現在参加者を広く募集しています。

日時 7月25日⑧ 出発午前9時30分(雨天中止)

集合場所 市役所前

コース 市役所・佐開公園往復(市役所→深井→上舌→榎→上庄中→西山→今井→佐開公園)

対象 小学4年生以上(なるべく親子参加で。小学3年生以下は必ず親子で)

申込先 市教育委員会体育課または市内自転車店まで

がん登録事業



奥越に多い胃ガンと肝臓ガン

大半が自覚症状後の発見

県の平成元年度がん登録事業では、がん罹患率はほぼ全国平均であることが分かりました。県下を地域別に見ると、奥越では胃がんや肝臓がんが多いという結果が出ました。がん登録の実態をご覧のうえ、定期検診やがん検診を積極的に受けて早期発見、早期治療につなげてください。

県は、昭和六十年から県医師会に委託して、がんと診断された患者の罹患状況や治療方法などをまとめる「がん登録事業」を実施しています。昨年末、平成元年度の登録状況がまとまりましたので、お知らせします。

男女とも胃がんがトップ

がんの発生部位は、男女とも胃がんが一位となっています。肺が二位で三位は結腸、以下肝臓、胆のう・胆管、直腸の順です。女性の場合は、二位に乳房、五位に子宮という順になります。

県下の罹患率は、ほぼ全国平均に近い数値を示しています。発生部位別に見ると、胆のう・胆管がんが全国平均の一・四倍、胃がんは男性が一・一倍、女性は一・三倍と高くなっています。逆に、男性の食道がん（〇・四倍）、肝臓がん（〇・八倍）、女性の肺がん（〇・七七倍）、乳がん（〇・七九倍）、膀胱がん

（〇・七八倍）は低くなっています。

県下を地域別に見ると、奥越のがん罹患率は高く、男性では肝臓がん、女性では胃がんと肝臓がんがそれぞれ一・二倍となっています。とくに男性は、県平均を下回るがんはありません。

四十歳前後から多発

罹患率が最も高い胃がんは男女とも四十歳前後から多く認められています。男性では五十歳代になると大腸、肺、肝臓。六十歳代になるとすい臓が加わります。

女性は、三十歳代で乳房や子宮、六十歳代では結腸、肺、直腸、肝臓、すい臓が増えてきます。

集団検診で早期発見を

がん登録二千六百五十三件のうち、がん発見の機会となったのは、外来受診が五四・三％、治療の紹介が三五・七％となっています。いずれも自覚症状後に医療機関を訪れたもので、早期治療に結びつかないケースといえます。健康診査やドックなどで見つかった件数は、全体の九％ですが、胃がんは一六・九％が集団検診で発見されています。

市では、五月から成人病健康診査やがん検診を実施しています。申し込まれた方は必ず受診を、ご希望の方は市保健センターまでご連絡ください。

がんの危険信号

- 舌 治りにくい潰瘍がある。
- 咽頭 声のかすれが治らない。
- 食道 呑み込むときにつかえる。
- 肺 1カ月以上、せき、タン、血タン、胸痛がある。
- 乳房 しこりがある。乳首から分泌物がある。
- 胃 胃の具合が悪い。食欲がない。食べ物の好みが変わった。
- 子宮 おりものがある。接触出血、不正出血がある。
- 腎臓・膀胱 血尿が出る
- 大腸・直腸 便通異常、粘血便、腹痛がある。
- 前立腺 頻尿、残尿感、尿線細小がある
- 皮膚 イボ、ホクロが大きくなった。色が変わった。

皆さんの健康づくりを後押しします・保健センター(☎65-7333)

義理人情で 名前ぐらいなら……

クレジット契約などの名義貸し

消費者も一定の責任

名前ぐらいならと思って、自分の名義を貸したところ、クレジット会社から請求が……こうした名義貸しをめぐるトラブルが後を絶ちません。義理人情に絡んだ安易な返事が、後でたいへんな事態を招きます。最近の事例を紹介しますので、参考にしてください。

事例

ふだんからよく行く販売店で「現在、クレジット会社の販売促進期間だが、あと一点契約が足りないのので、名前を貸して欲しい。すぐ解約するから絶対迷惑をかけない」といわれ承諾をした。ところが突然、クレジット会社から支払の請求書が届いた。あわてて販売店に苦情を申し出ようと思ったところ、販売店が倒産してしまい、どうしたらいいのか……

名義を貸したら 相手に権利も

自分は、ただ名前だけを貸したつもりでも、名前を貸した以上は、自分の名前で物を買ひ、クレジット会社に代金を立て替え払いをしてもらうという契約を結んだことになります。その権利を相手に与

えたことになり、重要な意味を持つのです。

特に販売業者が名義貸しを頼むのは、立て替え払いの仕組みを悪用するためです。つまり架空取引の契約書を作成して、クレジット会社に代金を立て替え払いさせて、不正に入手する目的があるわけです。

裁判の判例では 責任は消費者にも

事例のように、販売店が倒産し、クレジット会社からの請求書が、消費者に集中することによって、不正内容が表面化します。しかし、承知のうえで名義を貸した場合は、裁判でも消費者に一定割合の責任を認める判例が多くなっ

ています。

キツパリと断る 勇気を

知人や顔見知りのセールスマンに「絶対迷惑はかけない」「支払いは必ず責任を持つ」と頼まれても、名義貸しは勇気を出して、キツパリ断らなければなりません。クレジット会社からの電話確認も、「はいはい」とあいまいな回答は避け、契約の内容をよく確認し、身に覚えのないクレジット契約を阻止してください。

義理人情に絡んだ安易な返事が、重大な責任を負わされる結果になります。十分に気をつけてください。



ぐるーぷ登場

七板婦人消防隊

十月の全国大会めざして特訓中

今年の十月六日、横浜市の日本消防訓練センターで、第九回全国婦人消防操法大会が開かれます。この大会に県代表として、七板消防隊から七人が出場します。

市内には九隊（二百七十四人）の婦人消防隊が活動しており、同消防隊は昭和六十三年六月一日に結成されました。隊員は四十九人で、平成二年九月には、日本消防協会より軽可搬ポンプが交付されています。主な活動は、火災予防のPR活動や毎月実施するポンプの点検、訓練などです。火災を最小限に防ぐには、初期消火がポイント。家庭を守る婦人が、防火意識を持つことは大きな意義があります。

全国大会には、三十歳代の七人が参加します。六月十三

日には、有終会館で消防関係者や区民ら六十人が出席して七板婦人消防隊の結団式が行われました。指揮者を務める中兼一美さんは、「ポンプ操法を覚えるのは大変だ」と思いますが、区民や家族の励ましをいただいていることが何よりうれしいです。全力でがんばります」と意欲的に話していました。

これから全国大会に備えて、猛特訓が始まります。二十回のホース三本を使う競技では、適切な指示や正確な操作、素早い消火作業などが要求されます。消防署員が指導にあたり、五十回に及ぶメニューが用意されるそうです。



市民のページ

■この「ページ」では市民の皆さんの活動ぶりやご意見などを紹介します。あなたもページに参加しませんか。連絡先 市役所秘書広報課（☎66・1111）

今月のスナップ



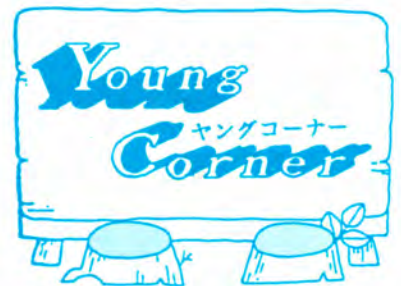
健在！ さお評

全国大会の総指揮者を務める隊長の澤田文子さんは「今から緊張していますが、貴重な体験になりますね」と意欲的。当日は、応援バスも予定されているそうです。ガンバレ「七板婦人消防隊」。

やまびこコンサート

私たちが参加します

今年で三回目を迎える「やまびこコンサート」は、七月十七日に市民会館大ホールで開かれます。今、毎週木曜日と日曜日の夜、有終会館ボランティア室で、オリジナル曲の合唱練習が続けられています。



障害者やボランティアに交じって、大野東高校の生徒が熱心に参加していました。今年、福祉科に入学した梅崎やよいさん（南新在家）、広瀬由佳さん（友江）、竹内巳希世さん（春日2）の三人です。

三人は、学校の授業で前回のコンサートをビデオで見たそうです。先生に勧められた梅崎さんと広瀬さんは「障害者の人とうまくできるか心配でしたけど、重苦しい雰囲気もなく、普通の人と変わらない感じでした」とほっとした様子でした。二人に誘われた竹内さんは「やってみたいなと思っていました。なごやかな雰囲気です」とにっこり。

コンサートで歌う曲は、ほとんどが一般から募集したオリジナルです。現在、二十人

左から 梅崎さん、広瀬さん、竹内さん

余りのスタッフがいますが、障害者を主人公にしたミュージカル風の企画もあり、人手が足りないそうです。歌が好きなお人や興味のある人は、市社会福祉協議会（☎65・8773）までお知らせください。

大野市で自然の恵みを満喫したい

都会では味わうことのできない名水は、豊かな自然がもたらした産物ばかりです。殺風景なビルの林の一角で、しかも汚れきった空気しか口にできない生活している都会のサラリーマンたちは、みんな「自然の恵み」を求めています。四方を山に囲まれた大野盆地には、ふるさとのイメージが漂っており、四季折々の変化に富んだ名所・旧跡も数多く残されています。

町の活性化を図ることは大事なことです。失ってほしくないものもあることを、またそう望んでいる人たちが多いことも忘れないでほしいものです。



お知らせ

●かんぽ資金まわすくろ
写真コンクール

郵政省では、簡易保険資金の融資で造られた施設や簡保加入者福祉施設を題材にした写真コンクールの作品を広く募集しています。

応募規定 未発表の作品で、白黒・カラーともキャビネ版以上四ツ切り以下

締切 8月31日(※)

応募・問合せ先 大野郵便局保険課 (☎66・3100) まで

市内の主な施設 小学校 有終東、有終西、有終南、下庄、乾側、上庄、富田、森目、蔵生 中学校 開成、陽明、尚徳 公園 荒井、右近次郎、駅東、さくら、陽明、資母郷、寺前、三角、弥生 集会所 市立図書館、開成、中野、中挟 道路 七板・唯野線、富田小・河原線、下中野・緑橋川線、三番線、春日神社・南小線、上庄中・木本線、東中・北御門・稲郷線、向島線 橋 新庄橋、友江清滝橋 流 雪溝 駅東線、大野駅・春日・木本線、鍛掛・新庄・東中線

うんたちは

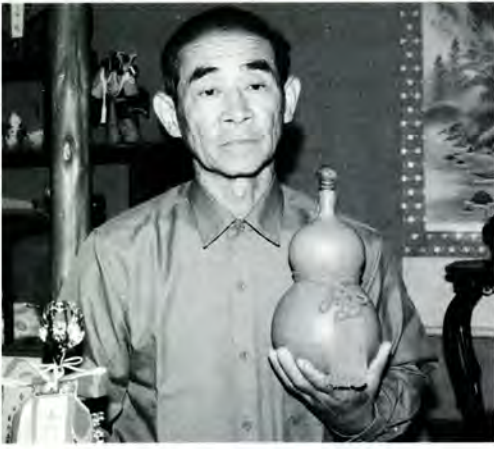
JAPAN IN HERB JAPAN

尾野 五百里さん (62歳・大矢戸)

今年の五月二十三日、滋賀県長浜市で開かれた全日本愛瓢会品評会で、尾野さんの作品が金賞を射止めました。

瓢会品評会で、尾野さんの作品が金賞を射止めました。

尾野さんがヒョウタンに興味をもったのは昭和五十五年福井市内のホテルに展示してあったヒョウタンの模造品を見て、本物のヒョウタンを作りたいと思ったそうです。奈良県や岐阜県の専門家を訪ねて、栽培方法を習い、種を分けてもらいました。翌春、栽培したヒョウタンは見事な出来映えとなり、専門家もびっくり。五十七年に全国愛瓢会



（会員数約千二百人）に入会し、その年の品評会でいきなり努力賞に入賞。その後も八回入賞し、今年の品評会で念願の日本一の座に就きました。

「大野は昼と夜の気温差が大きいので、ふくらみとくぼみのバランスがよくなるんです。梅雨時が一番気を使いますよ」と話す尾野さん。各地で尾野さんの種で栽培しても、形のよい固いヒョウタンにはならないそうです。

ヒョウタンは平和のシンボルともいわれており、目標を達成した今は、多くの人にヒョウタンの魅力を広めていきたいそうです。興味のある方は、尾野さん(☎66・0182)までどうぞ。

投稿規定

市政についての質問や意見などを、八ガキでお寄せください。「住所・氏名・年齢電話番号」を必ずお書きください。紙上匿名は自由ですが、住所・氏名のないものは採用できません。原文を一部要約することがあります。

あて先は、〒912 大野市 天神町一丁目 市役所秘書広報課広報広聴係」です。

福祉のまち目指し 「生き生きフェア」開催



第6回「生き生きフェア」が5月30日、有終会館で盛大に開催されました。「みんなでつくろうしあわせの輪」をテーマに七十の団体が協賛。介護用品の展示や福祉バザー、入所者の作品即売などが行われました。会館の入り口には折り鶴で作られた「ふれあいの虹」と題する5面四方のパネルが飾られ、市民の注目を浴びていました。

秘書広報課広報係 ☎66-1111

明るい家庭づくりを 母子寡婦福祉大会を開催



母子が助け合い明るい家庭づくりをと6月6日、有終会館で母子寡婦福祉大会が開かれました。山内市長らが祝辞を述べた後、2人の会員による体験発表や講演会が行われ、約200人の参加者は、時々うなずきながら聞き入っていました。ロビーには生け花や絵画など、会員が丹精込めた作品が展示されていました。

市日中友好協会が寧波市と友好合意書締結

5月21日から28日まで、市日中友好協会経済訪中団が中国の寧波市などを訪問。同市人民対外友好協会と友好交流合意書に調印しました。主な内容は、視察団相互派遣や文化・スポーツなどの民間交流、青少年友好親善など6項目です。今年11月には、寧波市対外友好協会代表団を、来夏にはサッカー少年団を招く予定です。



上庄小の児童らが ふるさととクリーン作戦

5月25日の午前中、上庄小学校の児童らが総出で、ふるさととクリーン作戦を展開しました。三年前から続けているこの活動は、自分たちがいつも利用する施設や道路周辺などをきれいにする奉仕作業。各学年ごとに分かれ、ビニール袋を手にした児童らは、捨てられた空き缶やゴミなどを徹底的に回収していました。



山の幸ずらり 七間朝市山菜フードピア

恒例の七間朝市山菜フードピアが5月22日、23日の二日間にわたって開かれました。会場には、ゼンマイやワラビ、ウド、タラノメ、タケノコなどが並べられ、山の幸を求める市民らでにぎわいました。朝市茶屋では、山菜名前当てクイズや山菜生け花展が行われたほか、山菜試食コーナーでは大勢の人垣ができていました。

話題の広場

話題の広場



荒島岳登山口に安全ボックスを設置

大野警察署と市はこのほど、荒島岳遭難事故を防止するための安全ボックスを登山口4カ所に設置しました。安全ボックスは、電話ボックスを利用したもので、遭難時に居場所を知らせる笛や発煙筒、白布、山岳マップ、磁石が備えられています。6月11日には、ヘリコプターによる発煙筒確認などの山岳救助訓練も行われました。



クリーンアップふくい大作戦 市民らが早朝清掃奉仕

6月6日は、県内一斉に「クリーンアップふくい大作戦」を展開。清龍区では、午前6時から区民総出で赤根川堤防の草刈作業を行いました。草刈がまを手にした区民らは、生い茂るカヤなどに悪戦苦闘。山内市長らの激励に応えながら奉仕活動を展開しました。3時間後には作業が終わり、心地よい汗をぬぐっていました。

身近な話題をお知らせください。



高校生自らが 街頭で交通指導

市内2校の高校生らが、街頭で自校の交通指導を行いました。高校生の自転車通学は、傘差し運転や並列走行などマナーが悪く、市民やドライバーからも指摘されています。街頭に立った高校生らは、右側通行や交差点の斜め横断など、一般的な交通ルールを守らない生徒が多いのにびっくり。苦笑いしながら指導にあたっていました。



堤防が決壊！ 本番さながら水防訓練

梅雨入り間近の6月13日、真名川憩いの島上流で、市防災訓練が実施されました。この日は、消防団員や日赤奉仕団員ら約150人が参加。雨が降りしきる中、本番さながらに土のう作りや水防工法の訓練が次々に行われました。近くのテントでは、180人分の非常食炊き出し訓練も行われ、参加者に配られました。



危険物安全週間の初日 パレードや消火訓練

危険物安全週間が始まった6月8日市民に注意を呼びかけるカーパレードや消火訓練が行われました。市内のガソリンスタンドでは、市危険物安全協会の関係者らが見守るなか、軽乗用車の炎上を想定した火災訓練を実施。従業員が初期消火を行った後、消防署に通報。化学消防車が出勤して、泡消火剤を吹きかけました。

お知らせ 7月



● 県政バス教室 (文化財号)

日時 7月9日(金) JR大野
駅集合午前8時50分

コース JR大野駅→パピルス・和紙の里会館→漆器会館→朝倉遺跡資料館→朝倉遺跡→JR大野駅(午後5時着)

対象 16歳以上で団体行動に支障のない人

参加費 650円(紙すき)
定員 先着52人

持ち物 昼食・水筒・筆記用具・参加費(アルコール類の持ち込みは厳禁)

申込方法 一人1枚の往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号・出発日・出発地を明記のうえ、〒910福井市大手3-17-1県庁広報課県民相談室まで

● 「行方不明者」をさがす相談所

みなさんのまわりで、行方が分からなくなっている人は

いませんか。警察では8月中旬に「行方不明者をさがす相談所」を開設します。

相談所では、みなさんのご期待に応えるため、全国の資料を用意しています。遠慮なくご相談ください。

開設期間 8月1日～31日

開設場所 県警察本部鑑識課(☎0776・22・2880内線2366)または大野警察署(☎66・3900)

● 救急法講習会

B&G海洋センターでは、水難事故のおきやすい時期に備え、救急法講習会を次のとおり開きます。

日時 7月17日(土)午後7時

会場 B&G海洋センター(稲郷43-17-1)

内容 人工呼吸法や救急処置(日赤県支部指導員)

定員 30人

受講料 無料

申込先 B&G海洋センター(☎64・1311)まで電話で

● リニューアルマチ相談会

大野保健所では、リニューアルで悩んでいる方やその家族を対象に、リニューアルマチ相談会を次のとおり開催します。

日時 7月29日(土)と8月19日(土)の2回。いずれも午後1時30分～3時30分

会場 市保健センター

内容 1回目 慢性関節リウマチと変形性膝関節炎等について・個別相談 2回目 簡単にできるリニューアルマチ体操・カルシウムのはなし・個別相談

問合せ先 大野保健所(☎66・2076)まで

● 代替地登録制度

県では、所有している土地を公共事業のために代替地として提供してもよいと思う方に、その土地の登録をしいただく「代替地登録制度」を実施しています。

代替地は、県が行う道路や河川などの公共事業で、買取する事業用地の代わりとして地権者に提供されます。自分の土地を提供してもよいと思われる方は、最寄りの県土木事務所まで申し出てください。

代替地として契約が成立した場合、一定の条件を満たせば譲渡所得の特別控除や税率



梅雨どきの運転 窓ガラスのくもり止めを

雨が多い梅雨どきは、交通事故が発生しやすくなります。車の窓ガラスが曇ったり、水滴や泥などで周りの状況がよく見えないために、ちよつとしたことで大きな事故に結びつきます。また、湿度が高いために不快指数が上がり、判断力も鈍ります。事故を起こさないためにも、次のことに気

- ① 雨の日は、窓ガラスに曇り止めスプレーをかけた後、エアコンを稼働させて視界をよくする。
- ② まわりの人に泥水をはねないようにスピードを落とす。
- ③ 急発進、急後退は絶対避け、乗る前にまわりの安全確認をする。

雨の日は、自転車や歩行者も濡れないように急いでいます。ドライバーはあわてず、歩行者や自転車を優先しましょう。

夏休みに入ると、日中も子供が遊んでいます。飛び出しなどに備え、慎重な運転を心がけてください。

● 検察審査会の役割

犯罪などの被害にあい、警察などに訴えたが、検察官が刑事事件として起訴しなかった場合、その不起訴が正しいかどうかを審査するのが検察審査会です。審査は、国民の中から「くじ」で選ばれた十

一人の審査員が行います。今年で四十五周年を迎える検察審査会では、七月十二日から十六日までを記念週間とし、その一環としてビデオ映画「真実を求めて―検察審査会の役割―」(ドラマ)の貸し出しを行っています。

詳しいことは、福井検察審査会事務局(福井市春山1丁目1-1福井地方裁判所庁舎内☎0776・22・5000内線230)までお問い合わせください。

第1回 福井県写真コンテスト

県では、史跡や建造物、街道、文化財など「福井の歴史」をテーマにした写真コンテストを実施しています。

募集期間 前期(3月1日～8月31日撮影) = 9月5日必着で後期(9月1日～翌年3月5日撮影) = 3月10日必着で

応募方法 ①リバーサルまたはネガカラー(モノクロ不可) ②リバーサルは35ミリ以上のボジで、ネガカラーは35ミリ以上のフィルムに四ツ切りプリントを添付 ③作品には右図の応募表を添付(自作可) ④作品は未発表のもので単品(組写真不可)

賞 前・後期から40点選考
応募・問合せ先 県総務部広報課
「第1回福井県写真コンテスト」
係(〒910福井市大手3-17-1 ☎0776-21-1111)

第一回福井県写真コンテスト		期応募
住所 〒	TEL() ()	
氏名	姓	名
※作品の受付整理、及び送付準備された作品を審査し決定するため、応募作品ごとに記入ください		
該当するものに○印をつけてください	■リバーサル	総応募枚数()点の内1点
	■ネガカラー	総応募枚数()点の内1点
撮影場所	タイトル	
撮影年月日	平成	年 月 日
撮影内容(ねらい、説明、その他メッセージ)		

●少年非行と裁判所

非行少年の年齢は、低下の傾向を示しており、十四歳から十五歳の少年による非行は全体の半数近くを占めています。最近では、いじめが原因で同級生を死亡させてしまったり非行も起きています。こうした少年の中には、無気力での関係がうまくいかない者が目立っています。家庭裁判所では、個々の少

年を抱える問題に応じて、最適な措置を採るよう努めています。詳しくは、福井家庭裁判所事務局総務課庶務係(☎0776・22・5000)へお尋ねください。

●なまづい

「コンサート」Ⅲ

このコンサートは、障害をもつ人、共にささえる人たちの日ごろの想いや希望をつづつた詩に、メロデーをつけて

●市美術展の

作品募集

第十四回市美術展が、八月二十七日から二十九日までの三日間、有終会館で開かれます。市教育委員会と市文化協会では、次のとおり作品を募集しています。

応募資格 県内に在住する高校生以上の人

部門 ①絵画(8×100号)・造形(3・3平方メートル以内)

②彫塑③工芸④書道(仕上がり180センチ×180センチ

または240センチ×60センチ

以内)⑤写真(四ツ切り以上

150センチ×100センチ以内。組写真もこの範囲以内に納める)

出品点数 一部門2点まで

出品料 1点につき大学生・一般11000円。高校生

5000円

作品搬入 8月25日(土)正午5時までに会場へ

作品搬出 8月29日(土)午後4時～5時

問合せ先 市教育委員会社会教育課文化係(☎66・11

11内線542)まで

会場 市民会館大ホール

入場料 一般1500円 小

中学生1300円

問合せ先 やまびこコンサート実行委員会(市社会福祉協議会内☎65・8773)

●'93求人求職フェア

来春卒業者の保護者やUターン就職希望者に、地元企業を紹介する'93求人求職フェアが次のとおり開催されます。気軽にお越しください。

日時 7月11日(土)午前9時30分～12時

会場 JA大野(市農協会館)

定員 20人

受講料 4500円

《2級簿記》

日時 8月3日から11月19日

までの毎週火・金曜日

午後6時40分～9時

定員 20人

受講料 6000円

*いずれも会場は、大野地域職業訓練センター(☎65・

6840)で、申込締切は

7月24日まで

この内容をPRしています。

詳しくは、市役所建設課管理建築係(☎66・1111内

線345)までご連絡ください。

●点訳ボランティア養成講座生募集

市社会福祉協議会では、平成5年度点訳ボランティア養成

成講座を開きます。

日時 7月8日から8月5日

までの毎週木曜日 午後1

時30分～3時

会場 有終会館

定員 20人

申込 市社会福祉協議会

(☎65・8773)まで

●簿記講習会

《3級商業簿記》

日時 8月4日から11月19日

までの毎週水・金曜日 午

後6時30分～9時

定員 20人

受講料 4500円

《2級簿記》

日時 8月3日から11月19日

までの毎週火・金曜日

午後6時40分～9時

定員 20人

受講料 6000円

*いずれも会場は、大野地域

職業訓練センター(☎65・

6840)で、申込締切は

7月24日まで

●退職金について

中小企業で退職金制度を設

けたい場合は、安全・確実・

有利な国の中退金制度をご利用

ください。

詳しくは、中退金相談コー

ナー(☎0764・44・58

51)まで。

市民のうごき

	6月1日現在	前月比
世帯数	11,317世帯	20世帯
人口	41,871人	11人
	男 20,027人	14人
	女 21,844人	△3人
5月中の異動	転入 98人	出生 23人
	転出 79人	死亡 31人

市内の交通事故状況 (年頭からの計)

件数内訳	平成5年 5月末	平成4年 5月末	増減
総件数	203件	215件	△12件
人身事故	49件	56件	△7件
	死者 0人	1人	△1人
	66人	77人	△11人
物損事故	166件	147件	19件

表紙のこぼれ

奥越ふれあい公園陸上競技場で、審判講習会が開かれました。約八十人の参加者は、立派な備品の操作や判定の仕方などの説明に真剣な表情。午後からは大野高校陸上部員らの協力を得て、実際に競技の進行方法や計測を行い、これからの本番に備えていました。

編集後記

六月号の話題の広場で、「亀山登り口に総ケヤキ造りの山門」を掲載しました。市民の方から、山門はお寺の門を意味するもので間違いだとの指摘を受けました。そのとおりで、取材先では城門と聞きながら、うつかり掲載してしまいました。おわびして訂正します。



下打波にある白山神社の大カツラの木は、県指定の天然記念物としてよく知られています。その標柱と並んで、ブナ原生林とトチ原生林（昭和五十一年度・奥越大森林公園）の標柱があります。

勝原橋を渡って、東勝原から下打波に至る道路は険しい山が迫り、道路も狭くて交通の難所といえます。特に冬期間は、雪崩の危険性のある箇所が多く、鉄砲雪崩を含めれば全コースが危

険です。眼下に西勝原第一発電所の見える鳥が壁は、東尋坊のような絶壁ですが、そこを過ぎると三方所にスノーシエッドがあります。昔は、積雪時の気温が上がる午後は、川原を歩くことが常識とされてきました。

昨今は森林破壊が進み、その危機が日本ばかりでなく、世界的な規模で問題にされています。奥越地方では、こ

184 ブナ・トチ原生林

の辺りが原生林として残っている唯一の場所といわれています。雪崩防止のために、山の森林伐採は大昔から禁じられています。百九段の石段を登ると白山神社の社殿がありますが、そこを過ぎて山に入るとすぐに原生林が広がっています。低いところにはトチの木が多いですが、頂上近くになるとブナやケヤキの木が多くなります。打波川の

対岸の山も原生林が広がり、森林の伐採が禁じられています。

森林にたたずむと、小鳥のさえずりや谷川のせせらぎが聞こえ、トンボやチョウが舞っています。映画「スターウォーズ」の中の幻想的な森林を連想しました。



七月一日より旧武家屋敷内山家は、修復工事も完了して一般に公開されている。江戸時代のものでなく、明治中期の建築ではあるが、旧家老職の邸宅らしい風格のある構えをよく残している。大野城に近く観光ゾーンにあるので、これから先訪れる人も少なくないだろう▼これは、廃家寸前のものが行政の手で立派に復元されて日の目を見ることになった例であるが、一方ならん施策が講じられることなく、大野市外へ流出していく文化財もある。蔵生区の城地家は二、三年まえに福井市の「おさごえ民家園」に買われて行った。地元に残せたら良かったのにと思ったが後の祭りであった▼専門の学識を生かして、藪苔類つまりコケの収集に長年努力され、数千点に及ぶ貴重な標本を所蔵している人。大野の民具を収蔵庫いっぱい保管している人など、こういう篤志家は、歳がいくに従い、公的機関の手で収集したものが未長く保存され、活用されることを切望しておられる▼大野には、残念ながらその要望にこたえられる施設や方策がないという。そんなところへ、市外の公共の資料館、博物館から寄託を受けたいという声がかかる。先日、近い将来お嫁にやる約束をしておいたということをお聞きしたところである。寂しいことであり、はがゆい思いは消えない▼文化財保護の仕事は、地味であり根気のいることであるが、地元の大野で活かされるような対策が必要である。(A)